令和6年度第4回 士別市地域公共交通活性化協議会 てん末

日時：令和7(2025)年2月13日 10:00～11:00

場所：士別市議会議場

1. 開 会

2. 挨拶 法邑会長

3. 報告事項

(1) 路線バス「朝日線」について【資料1】

- ・士別軌道株式会社大内委員より概要説明
- ・事務局より地域に対する周知について説明
- ・質疑なし、委員了承

4. 協議事項

(1) 協議会規約の一部改正について【資料2】

<旭川運輸支局 宮崎委員>

- ・現計画については「交通網形成計画」として令和7年度末までとなっているが、現計画自体の名称変更はいつのタイミングで行うのか。
- ⇒現時点では「交通網形成計画」を「公共交通計画」とみなして取り扱いをしており、計画期間も間もなく終了することから名称を変更せず、令和8年からの計画を「公共交通計画」と名称を変更し策定する。(事務局回答)
- ・内容について、原案のとおり委員承認

(2) さほっちタクシー事業について【資料3】

- ・質疑なし、委員承認

(3) 習い事応援タクシー事業について【資料4】

<社会福祉協議会 鴻野委員>

- ・既存の公共交通を活用したバスとの連携ということで、制度自体のレベルアップが図られている。習い事応援タクシーは事業実績を数字で見ると利用が伸びているし、周囲の話を見ると非常にいい制度であるとの声がある。令和8年度以降については協議会ではなく行政ということになると思うが、是非いい形で制度が残っていければいいと思っている。

<PTA 連合会 西川委員>

- ・小中学生バス半額助成事業について、令和7年度は行政としては廃止をし協議会で請け負って令和7年度限り実施し、令和8年度以降は改めて行政としてどうするか検討するとの提案であったと認識したが、令和7年度から行政として廃止と判断したものを市の補助団体である協議会側がアクションをおこし実施するということが可能なのか。令和

8年度以降の行政の考え方について教えていただきたい。

⇒小中学生バス半額助成事業は、公共交通事業として本協議会事務局である市企画課で所管している事業であり、市として利用実績等の分析を行い、公共交通全体の予算の見直しを図っていく中で廃止の方向性を検討していたが、習い事応援タクシー事業を令和7年度実施するにあたり、小中学生の移動手段の確保とバスとの連携の観点から、習い事応援タクシーと同様に協議会事業として実施し、公共交通事業として検証していきたい。令和8年度以降については、教育委員会と連携し両事業を継続するのか、新たな方策とするのか、教育事業として行政と関係団体、協議会で検証し決定していきたい。(事務局回答)

<旭川運輸支局 宮崎委員>

・令和7年度についても実証実験として実施するというのか。

⇒令和7年度については通年事業として、今後国の補助金がない中で自主財源でどのようにできるのかを検証していく。(事務局回答)

・既存のバス助成を活用しながら習い事応援タクシーを実施し利用促進していくと思うが、過去の実績から習い事での活用がバスでどれほど網羅できるのか。

⇒資料のバス時刻表の赤枠部分が習い事で活用ができる時間帯と考えている。バスのダイヤで全てを網羅できるわけではなく、少年団等の活動に間に合わないことも想定されることから、そういった課題を踏まえバスとタクシーでどのような連携ができるのか、バスの路線の再編も踏まえ令和8年4月に向けて検証していきたい。(事務局回答)

・バスを従来なかなか利用していない中で、習い事に関してバスの利用の周知PRについて検討いただきたい。また、国土交通省の共創MaaS事業も次年度予算化していく方向となっているので、次年度の共創モデル実証運行事業の活用を検討しているのか確認したい。

⇒バス・タクシーそれぞれの事業について、小中学生の移動手段の確保のため協議会としてしっかり周知・発信していきたい。共創MaaS事業については内容を精査させていただく中で応募を検討する。(事務局回答)

<士別ハイヤー 佐藤委員>

・新年度の補助に関して、本事業について運輸局からも全面的に賛同いただきバックアップしていただいていることから、積極的な補助金活用を検討いただきたい。これはハイヤーの事業というだけではなく、バスとの連携やスポーツ協会の支援など様々なサポートがありながら、子どもが自分でやりたいことをやれるような環境をみんなで作っていかねばと思うので、本事業にご理解いただきたい。

⇒今年度の予算100万円については、今後本市が単独事業としてやっていけるのかを前提とした考え方で組み立てている。補助事業の詳細な情報があり次第応募の検討を行うが、過去3年間実証事業として実施し実証期間も長いことから、令和8年度以降事業化して施できるのか行政内で調整し、関係団体等と議論しながら進めていきたい。

・内容について、原案のとおり委員承認

5. その他

- ・令和6年度習い事応援タクシー事業費の資金調達について

<事務局説明>

- ・国の補助金に関して6月から補助金を活用し、全額補助を受けることとなったが、国の補助金が協議会で事業所に支払った実績をもって支払われることから、協議会として原資がない状況である。そのため市から補助金決定額である355万円を一時的に借り入れ、事業所に支払いを行った後に国の補助金を受け、全額市に返済することとなった。当初予算では計上していなかったが、R6決算で記載されることとなるためご報告させていただく。

- ・路線バスの運賃改定について

<事務局説明>

- ・路線バスの状況に関しては物価高騰等の影響もあり経営的に厳しい状況となっていて、令和7年10月を目指したバスの運賃改定を士別軌道株式会社と協議を行っている。運賃改定については全線協議運賃として検討しており、法律で決められたメンバーで協議を行うため、本協議会に専門部会を来年度設置予定である。

6. 閉 会